



平成24年9月20日

インタラクティブ3Dによる仮想解剖アトラスを世界で初めて開発

<概要> 岡山大学は、パナソニック株式会社(以下、パナソニック)のインタラクティブ3D技術を用いて、仮想解剖アトラスを共同開発しました。見たい方向から、見たい深度で、いつでも立体的に解剖を観察することが可能です。2011年より岡山大学の11診療科の専門医が臨床に必要な解剖を行いパナソニックが撮影を行いました。数十人の医師とパナソニック研究者が24時間体制で3ヶ月間、解剖と撮影を継続し仮想解剖アトラスを作成しました。

10月14日(日)開催の香川県医学会の特別講演で、パナソニックのプロジェクターでの3D上映により、気道、心臓、直腸、頸椎、乳腺腋窩の解剖を解説します。今後、インタラクティブ3Dを用いた解剖映像システムを共同開発していきます。

記者発表では3Dディスプレイを用いたデモを行います。

<本文>

解剖学は医学の礎です。臨床医になっても解剖学の知識はすべての診療科で必要とされます。医師は臓器の立体的位置関係を知りたいとき解剖学図譜を見ますが、紙面上に書かれているため立体構造を把握することが困難です。

そこで、岡山大学の診療科と人体構成学教室が協力し、各々の診療科で必要な解剖を行いました。解剖の進行に合わせてパナソニックがインタラクティブ3D撮影を施行し、解剖を立体的に再現できるシステムを構築しました。このシステムではコンピューターと3Dテレビを用い、医師が見たい方向から、見たい深度で自由に解剖を立体的に再現することができます。臓器の立体構造を把握する事が極めて容易になり、医療安全の向上に大きく寄与することができます。

また、初期研修医教育にも本システムは有用です。今後、インタラクティブ3Dを用いた解剖映像システムを共同開発していきます。

<香川県医学会の取材お問い合わせ先>

香川県綾歌地区医師会

古川 和孝 氏

(電話番号) 087-876-0329

(FAX番号) 087-876-0380

(メール) info@ayauta-med.or.jp

(学会) <https://igakukai.enovateweb.com/>

<お問い合わせ先>

岡山大学病院 集中治療部

武田 吉正

(電話番号) 086-235-7778

(FAX番号) 086-235-6984

(メール) yoshit@cc.okayama-u.ac.jp